

歩こうかい 1 月例会(通算 379 回)



三英傑ゆかりの地を訪ねる⑦



初詣・熱田神宮周辺をあるく

2023 年 1 月 11 日(水)

天気:快晴 ・参加者 14 名 <10,000 歩>

名鉄神宮前駅・・・熱田神宮(初詣)・・・上知我麻神社・・・秋葉山円通寺・・・旧東海道里程標・・・

宮の渡し公園・・・白鳥公園・・・記念橋・・・断夫山古墳・・・甲羅本店(新年会・臨時総会)・・・最寄駅

朝から青空が広がり、冷たい風も心地よく感じられるウォーキング日和。名鉄神宮前駅を 10 時にスタートし、まずは熱田神宮に詣で 1 年の無事と平安を祈願。熱田神宮は三種の神器の 1 つである草薙剣(くさなぎのつるぎ)を祀る神社として知られ、松の内は過ぎたが参道には露店が立ち並び参拝者で賑わっていた。又、境内には織田信長が桶狭間の戦いで勝利を収めた御礼に奉納した信長塀が残されている。

神タイミングで、大地の精霊を鎮め厄除と招福を願う平安朝の宮中行事・踏歌神事(とうかしんじ)が始まり、しばらく足を止める。



信長塀



踏歌神事が始まる

ご神木の大楠を見て、長い参道を正門(南門)鳥居まで歩き、熱田神宮の摂社・上知我麻(かみちかま)神社参拝の後、日本最古唯一の秋葉大権現ご出現の霊場・秋葉山円通寺で火事避けを祈願。



ご神木の太楠



秋葉山円通寺

大通りを南に歩き、途中から旧東海道に入り七里の渡し(宮の渡し)に向けしばらく行くと里程標がある。佐屋街道(美濃路)との分岐点で、佐屋街道は熱田(宮)宿と桑名宿を結ぶ七里の渡しの風雨による欠航や、船酔いを嫌う多くの旅人が行き交い、東海道の脇往還として賑わっていた。里程標横の案内板には、昔は向かい側にある「ほうろく地蔵」の場所に上知我麻神社があったと書かれている。



里程標と上知我麻神社の案内板

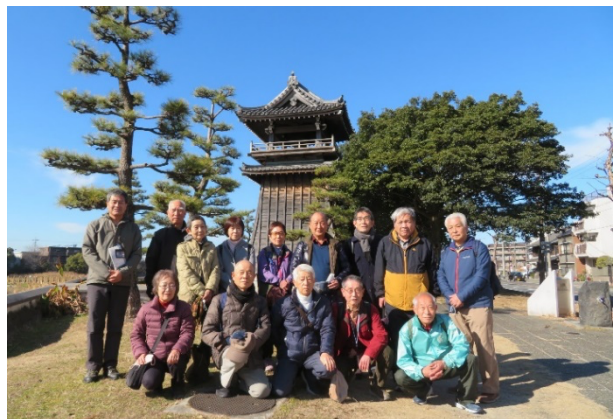


ほうろく地蔵

15分程歩くと宮の渡し公園に着き、集合写真を撮り堀川に沿って北に向かう。堀川は名古屋開府に際して、建築資材運搬用の運河として伊勢湾から名古屋城付近まで開削されたことがそのルーツとされる。



宮の渡し案内表示



鐘楼をバックに集合写真

白鳥公園を経て断夫山(だんぷさん)古墳を過ぎた頃昼時となり、ほどなく昼食会場の甲羅本店に着く。森会長の新年挨拶の後臨時総会を開催し、通常総会の開催方、2023年度年間計画、会則改定(案)を決議。(昨年までは1月が事業・会計年度の始まりで新年会・通常総会を行っていたが、2023年度より事業・会計期間を4月～3月に変更)。食事を楽しみながら和やかな一時を過ごし、14時頃解散する。



断夫山古墳の案内板



新年会風景

記:奥村正忠